

令和 7 年度使用中学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 社 会（地理的分野）

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会（地理的分野）
----	-----------

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東 書	2	地理 002-72	新編 新しい社会 地理	・世界のさまざまな気候帯の学習について、P49に各気候の雨温図が並べて表記されているので比較がしやすい。 ・二次元コードは整理されており、P48の「比べる雨温図」は2つの地域の雨温図を並べて比較することができるため、わかりやすい。 ・それぞれの単元に応じた二次元コードが見やすい定位置にあり、説明ムービーや資料につながるようになっているため、学習のタイミングと合った内容になっている。 ・資料等に使われている文字が小さく、やや見づらい。 ・本文の漢字にふりがなが少ない。 ・写真が多く使われているが、課題や特徴を感じる資料がやや少ない。 ・防災の記述では東日本大震災やこれから心配される南海トラフの地震についての被害予測などが中心となっている。 ・学習指導要領の教科目標の「見方・考え方を働かせる」「課題を主体的に追究、解決しようとする」ための工夫がもう少し必要である。 ・ユーラシア大陸側から見た日本の地図がない。世界における日本の位置など、大観して眺める工夫があった方が、生徒が多面的・多角的に見る力がつきやすい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	1 7	地理 017-72	中学社会 地理 地域にまなぶ	・中学生という発達段階から考えると、漢字のふりがなが多い。 ・見開き2ページに載っているグラフなどの資料が大きいので見やすい。 ・全体のレイアウトが良い。 ・P156～の防災学習については、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、南海トラフの地震予測などバランスよく記載している。 ・世界の各州の地図や日本の各地方の地図が大きく、色合いも落ち着いて見やすい。 ・ロシアやウクライナの記述など、最近の事例が詳しく記載されており、生徒が社会情勢に関心を持ちやすい。 ・P81やP102など、振り返りの学習の場面などでは必ずSDGsの17の目標の図柄があり、意識しやすい。 ・SDGsに示された視点をもとに、学習課題が設定されており、グローバルな視点で考えることができる。 ・デジタルコンテンツが単元のはじめにあるが、やや量が少ない。 ・デジタルコンテンツの問題は、一問一答式で、生徒が自分で考えたり、協働的に学んだりする形式になっていない。 ・P8の緯度、経度の説明について、地球の立体図の輪切りの断面が記載されているのはよいが、角度が悪く、見にくいいため生徒にはわかりづらい。 ・P27の世界の気候帯について、さまざまな地域の気候の雨温図が並んで記載されていないので、生徒が比較して考えにくい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
帝 国	4 6	地理 046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	・見開き2ページの右下に毎回ある「確認しよう」「説明しよう」をうまく授業の流れに入れていけば、個別で思考したことをつなぎ合わせて他者との対話につなげていくことがしやすく、主体的・対話的で深い学びにつなげていきやすい。 ・中学生という発達段階から考えると、漢字にふりがなが多い。 ・二次元コードは単元のはじめにあり、その単元の内容がひとまとめになっている。 ・デジタルコンテンツの「ジオグラフ」は大変分かりやすく、立体化された資料を生徒が自身で扱えるようになっている。 ・新旧で地図を比較でき、身近な地域についても学びやすくなっている。 ・アニメーション解説は、生徒にわかりやすい内容となっている。 ・写真が多く、大きさも含めて生徒に見やすく、印象に残りやすい。 ・新しい写真が掲載されており、最新の情報をもとに考えることができる。 ・防災学習が充実しており、イラストマップから危険性を考えるなど、学習しやすい。また、ワークシートも付いており、生徒が考える一助となる。 ・さまざまな種類のフォントが使われており、区別がつきやすくなっているが、ユニバーサルデザインの観点からは見にくく感じる可能性がある。 ・P153の人口ピラミッドの説明にアニメーションが二次元コードで付いており、特徴を強調した別の図があるなど関連づけて捉えることで、理解がしやすくなっている。 ・世界のさまざまな気候帯の学習について、P29に各気候の雨温図が並べて表記されているので比較がしやすく、色合いも温度に応じた色分けがなされており、生徒に分かりやすくなっている。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
日 文	1 1 6	地理 116-72	中学社会 地理的分野	・見開き2ページの学習課題とともに「見方・考え方」を提示しているので、授業の中で扱いやすく、生徒にとって意識しやすい。 ・中学生の発達段階から考えると、漢字にふりがなが多い。 ・二次元コードが教科書の見やすい定位置に毎回あり、生徒にとって、わかりやすく、活用しやすい。 ・デジタルコンテンツに収められているイントロダクションムービーは、数分のまとまった映像になっているので導入として活用しやすく、生徒の意欲・関心を高めやすい。 ・単元の初めで学習課題を示さず、内容からスタートしており、各単元末の「まとめと振り返り」のページで、学習課題が出てくる構成である。 ・P28の世界の気候帯について、さまざまな地域の気候の雨温図が並んでいないので、生徒は比較して考えにくい。 ・生徒一人ひとりが自分で考え、追究する形式の学習課題が多く、他者との対話的な学びにつながる学習、協働的な学びにつながる場面設定がやや少ない。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

社会(地理的分野)

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	教出	帝国	日文
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている社会科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○	◎
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	○	◎	○
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○	◎	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○	◎	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、デジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	◎	△	◎	○
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	△	◎	○	○
内容	1	日本や世界の様々な地理的な事象に生徒が関心をもって学習に取り組むことができるような内容となっているか。	○	○	◎	◎
	2	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、理解することができる内容となっているか。	○	○	○	◎
	3	我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解することができる内容となっているか。	○	△	○	○
	4	地図や統計などの諸資料を活用して、地理に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめることができるような工夫がなされているか。	○	○	◎	○
	5	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察することができるような内容となっているか。	○	○	◎	○
	6	自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に関して、分布や地域に着目して、特色を理解することができる内容となっているか。	○	○	◎	○
	7	我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める工夫がなされているか。	○	○	○	◎
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	○	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○	○	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	△	○	○	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	△	○	○	◎
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	△	◎	○	○